

健康で明るい人生が送れるための 頼れるサポーターを目指しています

8B 病棟 看護長 相馬 泰子

8B 病棟とは？

8B 病棟はその名の通り、8階にある病棟で、非常に眺めがよく日当たりの良い明るい病棟です。ディールームからはレインボーブリッジや東京タワーが見え、夜景は格別です。また、廊下の突き当たりの窓からは富士山も眺めることができます。この病棟は、整形外科と糖尿病代謝内科の患者さんが入院治療される混合病棟となっています。

8B 病棟の役割

整形外科には骨折の患者さんが多いかと思いきや、^{せきすい}脊髄、股関節、膝関節関係の手術を受ける患者さんが多く入院されます。またほとんどの方が入院から3、4週間で退院します。高齢化に伴い60～70代の方が中心ですが、つい先日は90代の方が股関節の手術をされ、人生をまた楽しめますと退院されました。私たちは、患者さんのこれからの人生をより楽しく過ごしていただくための支援をしているのだということを改めて感じました。糖尿病代謝内科には、その名の通り糖尿病やホルモンに関係した病気の方、またその疑いがあり、検査を行う方が入院されます。特に糖尿病と診断された患者さんは、治療と平行して糖尿病

に関する教育を3日間受けますが、その教育や指導に当たるのも私たちの仕事です。昨今、メタボリック症候群が社会的問題となっていますが、これからの将来を担う世代が、糖尿病などの生活習慣病にかからず社会での役割を果たすために注目されている科です。このように8B病棟は、患者さんの生活の質を上げ、より健康で明るい将来や老後を提供する場であるといえます。

スタッフ紹介

さて、その患者さんを支えているスタッフを紹介させていただきます。新人からベテランまで年齢層は幅広く、生活スタイルもさまざまですが、患者さんの生活と安全を第一に考えて日々ケアを行っている29名の看護師、フットワークのよい8名の整形外科医師・3名の糖尿病代謝内科医師、事務職であるクラーク・料金担当、環境整備担当と総勢43名で構成されています。また、外来や地域との連携、および、リハビリテーション科との連携やカンファレンスなどにより、他職種との混合チームで高度医療、急性期医療に日々取り組んでいます。これからも患者さんの心と体を支え、より健康で明るい人生を送っていただくための



頼れるサポーターとして、社会に貢献していきたいと思います。